
キヤノン株式会社

2019年第2四半期 決算説明会

2019年7月24日

代表取締役副社長 CFO 田中 稔三

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

目次

■ 2019年2Q実績	P 2~4
-------------	-------

■ 2019年最新見通し	P 5~9
--------------	-------

■ 事業別詳細 (2019年2Q実績/2019年最新見通し)	P 10~16
-----------------------------------	---------

■ 財務状況	P 17~18
--------	---------

■ サステナビリティへの取り組み	P 19~20
------------------	---------

■ 参考資料	P 21~24
--------	---------

2019年 2Q実績のポイント

好転の兆しが見えない外部環境の影響を受けて減収減益

外部環境

- 米中貿易摩擦の長期化
- 中国景気の低迷や欧州経済の減速
- 産業機器市場の回復時期にも遅れ

当社業績

- 現行事業や、新規事業の産業機器は外部環境の影響を受ける
- 新規事業のメディカルやネットワークカメラは引き続き堅調

(億円)	2019年 2Q実績	2018年 2Q実績	対前年
売上高	9,059	10,064	-10.0%
売上総利益 (売上総利益率)	4,064 44.9%	4,746 47.2%	-14.4%
経費	3,633	3,766	
営業利益 (営業利益率)	431 4.8%	980 9.7%	-56.0%
営業外損益	80	121	
税引前利益	511	1,101	-53.6%
純利益 (純利益率)	345 3.8%	777 7.7%	-55.6%
USD	109.80	109.14	
EURO	123.39	129.97	

2019年 セグメント別PL(2Q)

- オフィス、イメージング、産業機器その他は減収減益
- 新規事業のメディカルは2桁の増収

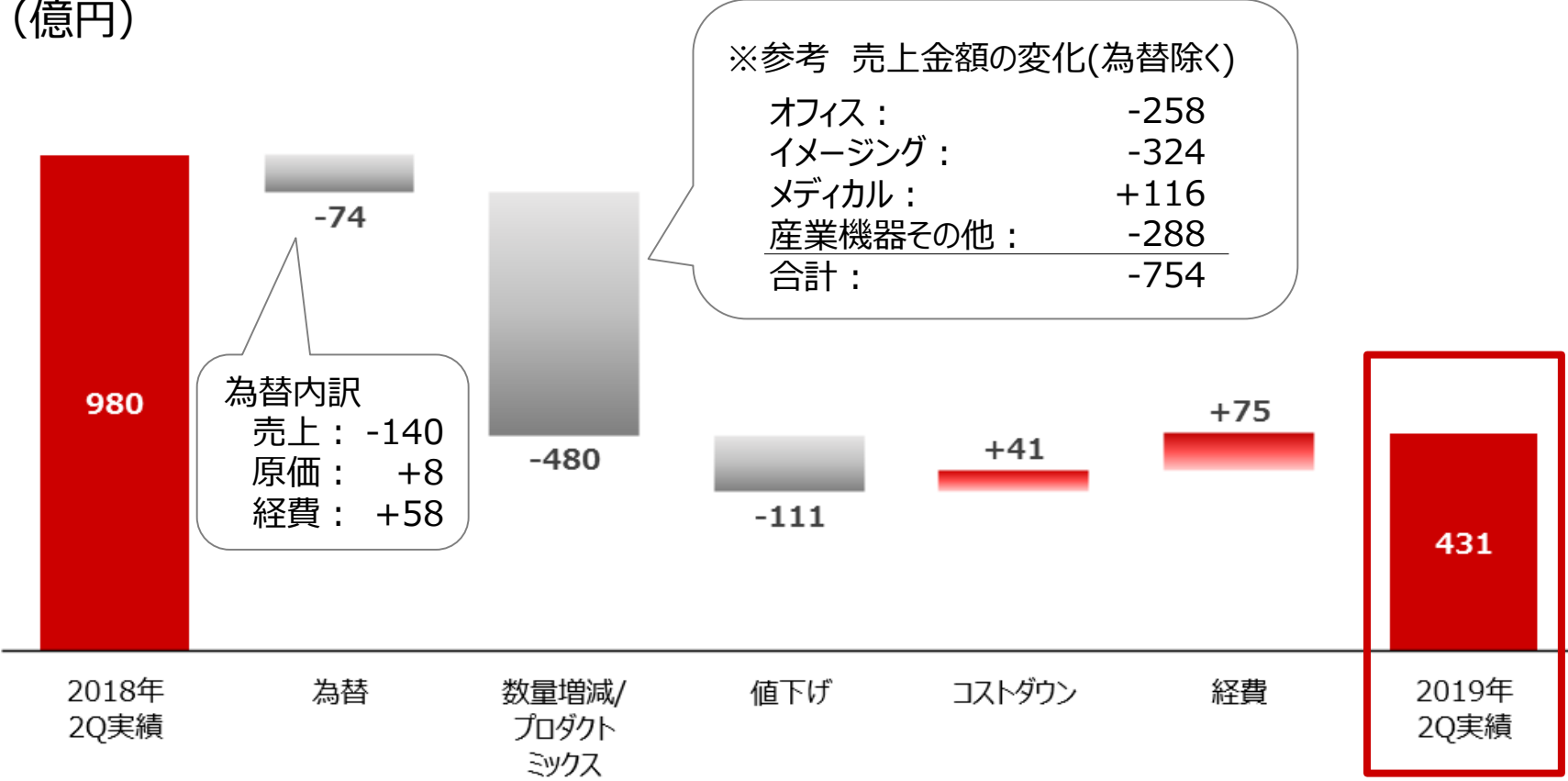
(億円)		2019年 2Q実績	2018年 2Q実績	対前年
オフィス	売上高	4,279	4,627	-7.5%
	営業利益	429	608	-29.4%
イメージング システム	売上高	2,047	2,510	-18.5%
	営業利益	127	352	-64.0%
メディカル システム	売上高	1,051	947	+11.0%
	営業利益	34	17	+102.5%
産業機器 その他	売上高	1,924	2,247	-14.4%
	営業利益	70	209	-66.7%
全社消去	売上高	-242	-267	-
	営業利益	-229	-206	-
連結合計	売上高	9,059	10,064	-10.0%
	営業利益	431	980	-56.0%

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

営業利益分析(2Q)対前年

- 数量増減は、メディカルとネットワークカメラが売上を伸ばすも、その他事業は外部環境の変化を受けて減収
- グループを挙げて改善に取り組み、経費は前年以下に抑制

(億円)



2019年最新見通しのポイント

【下期の為替前提】

19年下期の為替影響額
(1円の変動による影響)

平均為替レート	19年下期	19年年間	売上	営業利益
USD/円	105.00円	107.37円	68億円	25億円
EUR/円	120.00円	122.05円	32億円	15億円

【外部環境】

- 世界経済は足元では弱含み。貿易摩擦や地政学リスクなどの下振れ要素を多く抱え、不透明感が高まる

【2019年見通し】

- 外部環境の影響を受けて、業績の本格回復の時期はずれ込む
- 新規事業全体の売上は前年を上回り、事業のポートフォリオの転換は進む

2019年 全社PL(年間)

- 為替の円高影響を大きく受けたこともあり、対前年で減収減益
- 対前回では、売上1,050億円、営業利益590億円引き下げ

(億円)	2019年 最新見通し	2018年 年間実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
売上高	37,450	39,519	-5.2%	38,500	-1,050
売上総利益 (売上総利益率)	16,818 44.9%	18,356 46.4%	-8.4%	17,322 45.0%	-504
経費	14,668	14,926		14,582	-86
営業利益 (営業利益率)	2,150 5.7%	3,430 8.7%	-37.3%	2,740 7.1%	-590
営業外損益	250	199		210	+40
税引前利益	2,400	3,629	-33.9%	2,950	-550
純利益 (純利益率)	1,600 4.3%	2,528 6.4%	-36.7%	2,000 5.2%	-400
USD	107.37	110.43		106.20	
EURO	122.05	130.29		125.04	

2019年 セグメント別PL(年間)

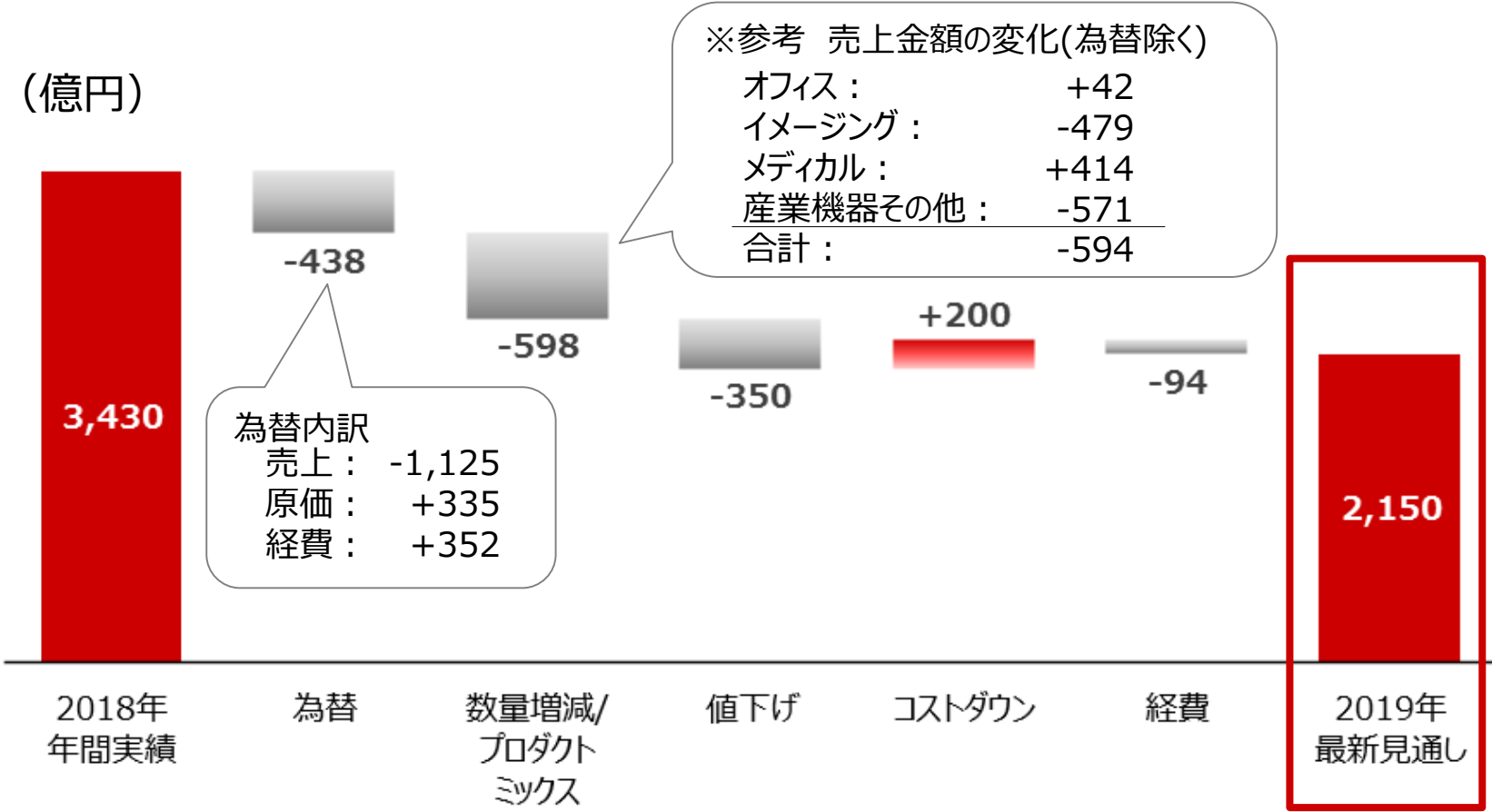
- 対前年でメディカルは増収増益、収益性も着実に改善
- 外部環境の影響により年間見通しを引き下げ

(億円)		2019年 最新見通し	2018年 年間実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
オフィス	売上高	17,460	18,073	-3.4%	17,725	-265
	営業利益	1,924	2,208	-12.9%	2,040	-116
イメージング システム	売上高	8,650	9,704	-10.9%	8,890	-240
	営業利益	630	1,267	-50.3%	940	-310
メディカル システム	売上高	4,690	4,376	+7.2%	4,795	-105
	営業利益	348	288	+20.7%	362	-14
産業機器 その他	売上高	7,696	8,429	-8.7%	8,155	-459
	営業利益	190	557	-65.9%	283	-93
全社消去	売上高	-1,046	-1,063	-	-1,065	+19
	営業利益	-942	-890	-	-885	-57
連結合計	売上高	37,450	39,519	-5.2%	38,500	-1,050
	営業利益	2,150	3,430	-37.3%	2,740	-590

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

営業利益分析(年間)対前年

- 売上・利益共に為替の円高影響を大きく受ける
- 数量増減は、メディカル・ネットワークカメラが伸ばすも、カメラや産業機器の影響により減少



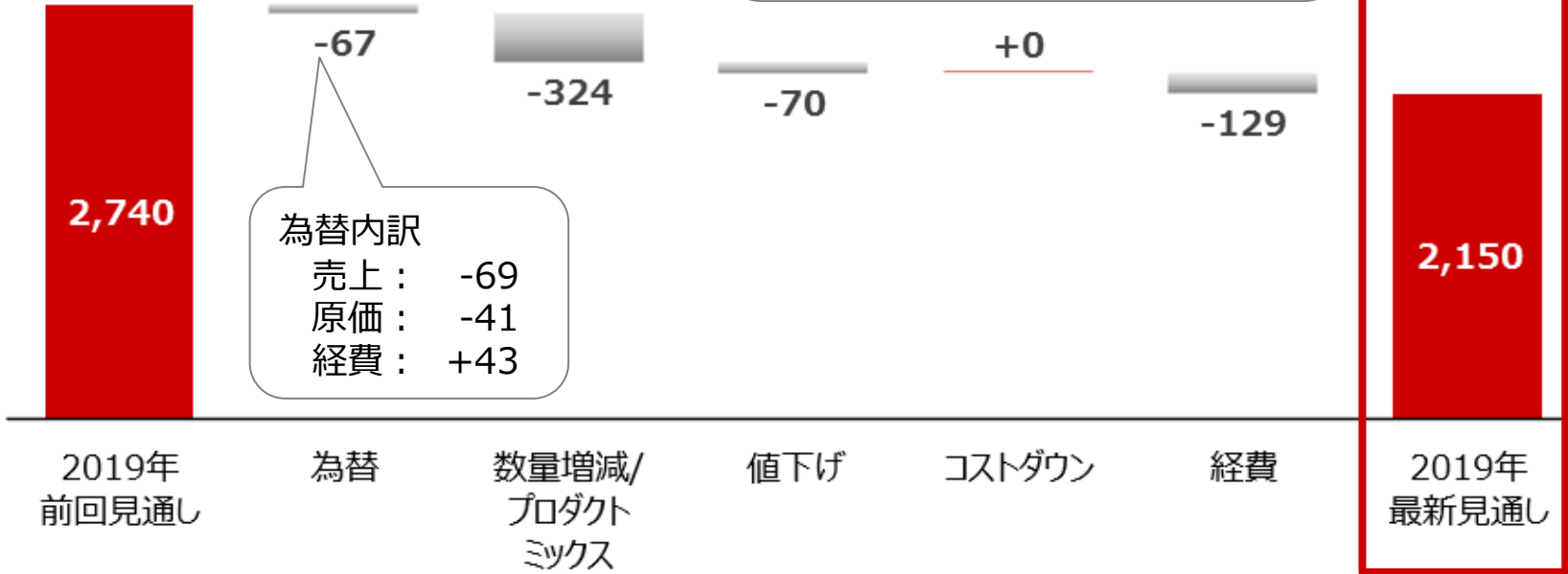
営業利益分析(年間)対前回

- 数量増減は、全てのビジネスユニットで見通しを引き下げ
- 足元の競争環境を踏まえ、価格対応を追加
- 構造改革の加速のため、費用を追加

(億円)

※参考 売上金額の変化(為替除く)

オフィス :	-228
イメージング :	-143
メディカル :	-100
産業機器その他 :	-440
合計 :	-911



為替内訳
 売上 : -69
 原価 : -41
 経費 : +43

オフィス（複合機）

- 2Qは新製品が着実に市場に浸透し、カラー機の台数伸長
- 年間ではプロダクション機新製品の拡販により収益性向上を目指す

(億円)

	2Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
複合機	1,664	1,783	-6.7%	6,660	6,843	-2.7%	6,837	-177
LP	1,550	1,835	-15.6%	6,543	7,065	-7.4%	6,625	-82
その他	1,065	1,009	+5.6%	4,257	4,165	+2.2%	4,263	-6
売上高計	4,279	4,627	-7.5%	17,460	18,073	-3.4%	17,725	-265
営業利益	429	608	-29.4%	1,924	2,208	-12.9%	2,040	-116
%	10.0%	13.1%		11.0%	12.2%		11.5%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 2Q実績	2019年 見通し
複合機	-4.9%	+0.7%
LP	-14.5%	-4.7%
その他	+7.4%	+5.3%
合計	-6.1%	-0.3%

■ 台数伸び率

	2019年 2Q実績	2019年 見通し
複合機		
モノクロ	-1%	0%
カラー	+1%	+7%
合計	0%	+4%

『imagePRESS C910シリーズ』



- ・印刷速度向上
- ・画質向上
- ・用紙対応力の強化

オフィス（レーザープリンター）

- 2Qは、消耗品がOEM先の在庫調整の影響を受け減収
- 下期は、新製品の拡販やブランド保護活動を加速

(億円)

	2Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
複合機	1,664	1,783	-6.7%	6,660	6,843	-2.7%	6,837	-177
LP	1,550	1,835	-15.6%	6,543	7,065	-7.4%	6,625	-82
その他	1,065	1,009	+5.6%	4,257	4,165	+2.2%	4,263	-6
売上高計	4,279	4,627	-7.5%	17,460	18,073	-3.4%	17,725	-265
営業利益	429	608	-29.4%	1,924	2,208	-12.9%	2,040	-116
%	10.0%	13.1%		11.0%	12.2%		11.5%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 2Q実績	2019年 見通し
複合機	-4.9%	+0.7%
LP	-14.5%	-4.7%
その他	+7.4%	+5.3%
合計	-6.1%	-0.3%

■ 台数伸び率

	2019年 2Q実績	2019年 見通し
LP		
モノクロ	-13%	-9%
カラー	+11%	+6%
合計	-9%	-7%

オフィス（その他）

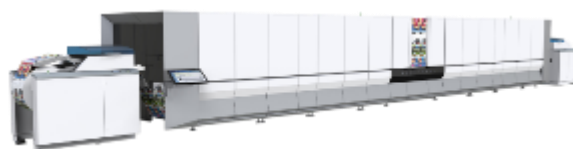
- メディア対応力など、新製品の競争力を継続的に強化
- 販売を加速させ、売上と利益の改善を図る

(億円)

	2Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
複合機	1,664	1,783	-6.7%	6,660	6,843	-2.7%	6,837	-177
LP	1,550	1,835	-15.6%	6,543	7,065	-7.4%	6,625	-82
その他	1,065	1,009	+5.6%	4,257	4,165	+2.2%	4,263	-6
売上高計	4,279	4,627	-7.5%	17,460	18,073	-3.4%	17,725	-265
営業利益	429	608	-29.4%	1,924	2,208	-12.9%	2,040	-116
%	10.0%	13.1%		11.0%	12.2%		11.5%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 2Q実績	2019年 見通し
複合機	-4.9%	+0.7%
LP	-14.5%	-4.7%
その他	+7.4%	+5.3%
合計	-6.1%	-0.3%



高画質インクジェットカラー連帳機
『ProStream 1000』



ワイドフォーマットプリンター
『Colorado 1650』

イメージングシステム (カメラ)

- 市場および当社ともに年間の販売台数は前回見通しを据え置く
- 市場でのプレゼンスを一層高め、ミラーレスの販売につなげる

(億円)

	2Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
カメラ	1,226	1,632	-24.9%	4,973	5,949	-16.4%	5,085	-112
インクジェット	684	739	-7.5%	3,095	3,202	-3.3%	3,197	-102
その他	137	139	-0.9%	582	553	+5.2%	608	-26
売上高計	2,047	2,510	-18.5%	8,650	9,704	-10.9%	8,890	-240
営業利益	127	352	-64.0%	630	1,267	-50.3%	940	-310
%	6.2%	14.0%		7.3%	13.1%		10.6%	

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 2Q実績	2019年 見通し
カメラ	-22.9%	-13.0%
インクジェット	-5.6%	-0.1%
合計	-16.4%	-7.5%

■ 台数伸び率 (単位: 万台)

	2019年2Q実績		2019年見通し	
	台数	伸び率	台数	伸び率
レンズ交換式	108	-22%	420	-17%
コンパクト	70	-17%	260	-18%

フルサイズミラーレス



イメージングシステム（インクジェット）

- 2Qは、縮小傾向が続く市場の影響を受け減収
- 下期は、大容量インクモデルとA3複合機新製品の販売を加速

(億円)

	2Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
カメラ	1,226	1,632	-24.9%	4,973	5,949	-16.4%	5,085	-112
インクジェット	684	739	-7.5%	3,095	3,202	-3.3%	3,197	-102
その他	137	139	-0.9%	582	553	+5.2%	608	-26
売上高計	2,047	2,510	-18.5%	8,650	9,704	-10.9%	8,890	-240
営業利益	127	352	-64.0%	630	1,267	-50.3%	940	-310
%	6.2%	14.0%		7.3%	13.1%		10.6%	

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 2Q実績	2019年 見通し
カメラ	-22.9%	-13.0%
インクジェット	-5.6%	-0.1%
合計	-16.4%	-7.5%

■ 台数伸び率

	2019年 2Q実績	2019年 見通し
インクジェット	-14%	0%

大容量インクモデル



メディカルシステム

- 2Qは、認知度が向上した新製品が牽引し、2桁の増収
- コストダウンの取り組みを進め、年間でも増収増益を目指す

(億円)

	2Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
売上高計	1,051	947	+11.0%	4,690	4,376	+7.2%	4,795	-105
営業利益	34	17	+102.5%	348	288	+20.7%	362	-14
%	3.2%	1.8%		7.4%	6.6%		7.5%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 2Q実績	2019年 見通し
合計	+12.2%	+9.5%



CT
『Aquilion Start』

産業機器その他

- 半導体露光装置はメモリ市況を反映し、年間計画を見直し
- 有機EL蒸着装置は市場の回復局面に備える
- ネットワークカメラは豊富なラインアップを活かして継続成長

(億円)

	2Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
露光装置	454	528	-13.9%	1,631	1,998	-18.4%	1,846	-215
その他	1,470	1,719	-14.6%	6,065	6,431	-5.7%	6,309	-244
売上高計	1,924	2,247	-14.4%	7,696	8,429	-8.7%	8,155	-459
営業利益	70	209	-66.7%	190	557	-65.9%	283	-93
%	3.6%	9.3%		2.5%	6.6%		3.5%	

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 2Q実績	2019年 見通し
露光装置	-13.6%	-17.8%
その他	-14.0%	-3.6%
合計	-13.9%	-7.0%

■ 露光装置台数 (単位：台)

	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2018年 実績	2019年 見通し
半導体	32	21	114	83
FPD	16	15	69	51

在庫の状況

- イメージングシステムは、年末までに適正水準に引き下げ
- メディカル・産業機器その他は、今後の拡販に向けて在庫を積み増し

(金額：億円)

		2018年				2019年	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
オフィス	金額	2,075	2,099	2,246	2,061	2,152	2,058
	日数	41	42	46	42	44	44
イメージングシステム	金額	1,405	1,452	1,738	1,396	1,562	1,516
	日数	47	57	67	50	62	73
メディカルシステム	金額	804	860	893	906	938	930
	日数	66	74	80	73	75	79
産業機器その他	金額	1,601	1,583	1,727	1,750	1,857	1,807
	日数	73	75	86	91	101	103
合計	金額	5,885	5,994	6,604	6,113	6,509	6,311
	日数	52	56	62	56	62	65

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。17

キャッシュフロー(年間)

- 将来の成長に向けた投資枠は確保し、手元資金も前回並みを維持
- 前年との比較ではフリーキャッシュフローを改善

(億円)	2019年 最新見通し	2019年 前回見通し	2018年 実績
営業活動によるキャッシュフロー	4,500	5,700	3,653
投資活動によるキャッシュフロー	-2,400	-2,600	-1,956
フリーキャッシュフロー	2,100	3,100	1,697
財務活動によるキャッシュフロー	-2,300	-3,250	-3,549
為替変動影響	-106	-56	-160
現預金の純増減額	-306	-206	-2,012
現預金の期末残高	4,900	5,000	5,206
手元回転月数 ※	1.5	1.6	1.6
設備投資	1,650	1,650	1,593
償却費	2,300	2,300	2,516

※ 2019年最新見通しおよび2018年実績は下期売上高、2019年前回見通しは年間売上高で算出

キヤノンの環境・CSR活動と「SDGs」

■ 企業理念「共生」と「SDGs」

の目指す社会の姿は共通

キヤングループは事業活動を通じた環境・CSR活動で「SDGs」の達成に貢献

よりよい社会の実現

事業活動を通じた取り組み

キヤノン 企業理念
「共生」

世界の繁栄と
人類の幸福のために貢献

- キヤングループ行動規範
- キヤングループ 環境憲章
- 調達方針
- 製品安全に関する基本方針
- 製品安全技術基準
- キヤングループ CSR活動方針 など

キヤングループ
企業の社会的責任に関する基本声明

持続可能な開発目標 (SDGs)



「持続可能な経済成長と働きがいのある人間らしい仕事を享受できる世界」を目指す

「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」より

サステナビリティへの取り組み 環境・CSR活動と経営への統合

■ 環境・CSR活動の経営/事業活動との連動

✓ 連結業績評価制度

業績の一部として
各事業の環境・CSR対応
を評価

(2001年より)

✓ グループ全体会議

本社・事業・主要グループ会社
トップと環境・CSR課題を議論


(2001年より)

✓ 環境活動レポート

グループ環境目標の達成状況を
経営層が月次で確認

(2008年より)

■ 事業活動を通じた社会課題の解決

医療機器  ネットワークカメラ 
暮らしとITを支える産業機器  など、



国際社会の課題解決に貢献する事業を中長期経営計画の主要戦略の一つに

參考資料

■ハード/ノンハード別 対前年売上伸び率

		2019年		2018年	
		2Q 実績	年間 見通し	2Q 実績	年間 実績
複合機					
円貨	ハード	-8%	-1%	+4%	-1%
	ノンハード	-6%	-4%	0%	-1%
LC	ハード	-6%	+3%	+3%	-2%
	ノンハード	-4%	-1%	-2%	-2%
LP					
円貨	ハード	-3%	-5%	-2%	+1%
	ノンハード	-23%	-9%	+4%	-1%
LC	ハード	-3%	-2%	-3%	+1%
	ノンハード	-21%	-6%	+2%	-1%
インクジェット					
円貨	ハード	-8%	+3%	-4%	-3%
	ノンハード	-8%	-6%	-6%	-5%
LC	ハード	-6%	+7%	-6%	-3%
	ノンハード	-6%	-3%	-8%	-5%

■ カラー比率

		2019年		2018年	
		2Q 実績	年間 見通し	2Q 実績	年間 実績
複合機	売上高	59%	60%	59%	59%
	台数	59%	59%	59%	58%
LP	売上高	52%	52%	51%	51%
	台数	20%	20%	16%	18%

■ 複合機 モノクロ/カラー別 対前年売上伸び率

		2019年		2018年	
		2Q 実績	年間 見通し	2Q 実績	年間 実績
円貨	モノクロ	-6%	-4%	0%	-3%
	カラー	-7%	-2%	+3%	0%
LC	モノクロ	-5%	-1%	-2%	-3%
	カラー	-5%	+2%	+2%	-1%

■ レンズ交換式カメラ比率

	2019年		2018年	
	2Q 実績	年間 見通し	2Q 実績	年間 実績
金額ベース	85%	85%	87%	85%
台数ベース	61%	62%	62%	61%

※金額ベースには交換レンズも含む

■ 半導体露光装置台数 光源別内訳

(単位：台)

	2019年		2018年	
	2Q 実績	年間 見通し	2Q 実績	年間 実績
KrF	8	20	12	32
i線	13	63	20	82
合計	21	83	32	114